

特別展覧会

「日本女流作家達の 自筆原稿」展



ごあいさつ

聖徳大学人文学部日本文化学科においては、自国を深く知ることが国際社会での第一歩と位置づけ、日本文化を総合的に学ぶことができるような教育に主眼を置いています。そのためにわが国はもとより世界各地から様々な教育学術資料を収集しております。なかでも、わが国の文学関係の学術資料は充実しており、本学園のコレクションの中でも中心的なものとなりました。

今回は、わが国の著名な女流作家たちの自筆原稿を公開いたします。生誕順に平塚らいてうから、現在でもなお活躍中の作家であるよしもとばななまで17名の自筆原稿を公開いたします。

これら自筆原稿からは、作家が執筆している時の心情や息づかいが伝わってくるようです。例えば題目が変更になったり、内容が書き直されて出版されたり、というようなことが手に取るように見ることができます。なお、別途特別出品として生誕140年を迎えた幸田露伴、尾崎紅葉の自筆原稿も展示します。

この機会に、活字からでは決して得られない自筆の持つ迫力や感動が得られればと思います。

平成19年5月7日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川 並 弘昭



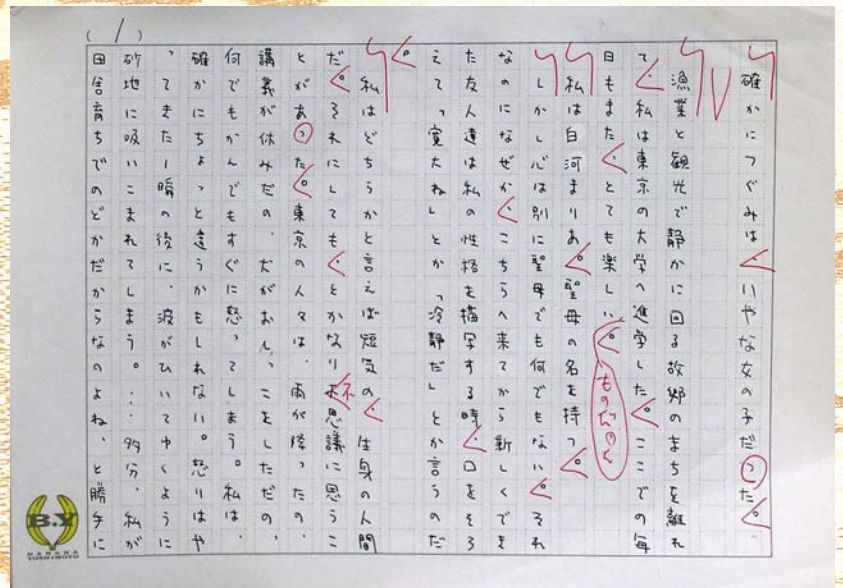
瀬戸内 寂聴
(1922～)



「小さな僧のものがたり」 昭和 55 年 初出



よしもと ばなな
(1964～)



「TUGUMI」 平成元年 初出

この他の作家・作品

宮本	百合子	「愛らしき母」
円地	文子	「武蔵野の女」
牧	羊子	「ケチと見栄・切餅・ 九餅・文化と教育地」
武田	百合子	「日日雑記」
竹西	寛子	「市」「埠頭」
大庭	みな子	「アラスカの2つの歌」
林	京子	「上海」
有吉	佐和子	「雛の日記」

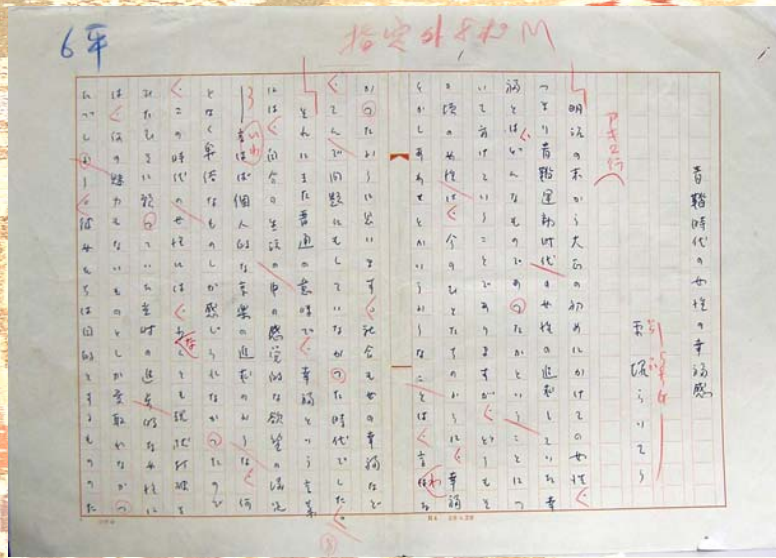
白石	かずこ
富岡	多恵子
津島	佑子
鈴木	いづみ

「一漕のカヌー北々東へ すすむ あるいは宇宙駅」
「植物祭」
「島」
「かわいそうな男どもよ！」





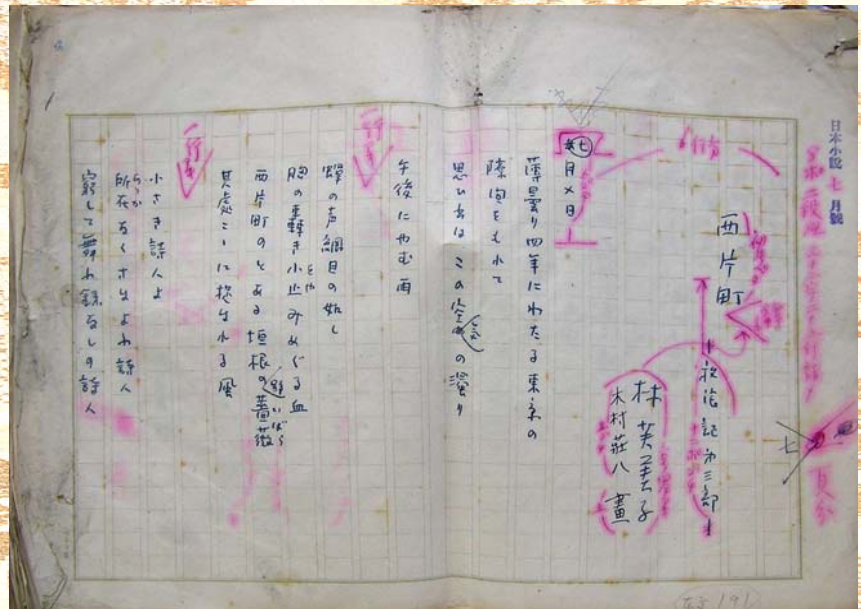
平塚 らいてう
(1886~1971)



「青鞥時代の女性の幸福感」 出版未確認



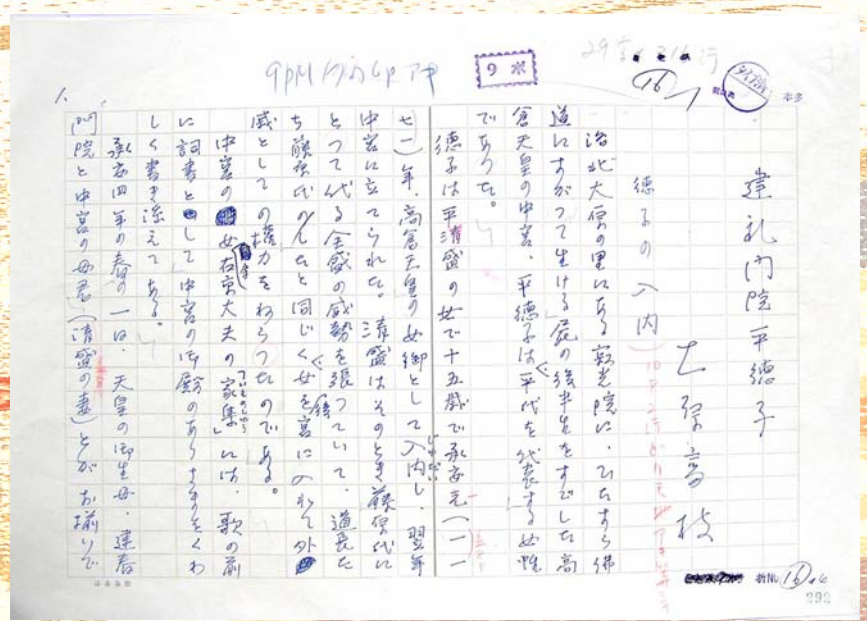
林 芙美子
(1903~1951)



「放浪記」第三部 昭和24年 初出

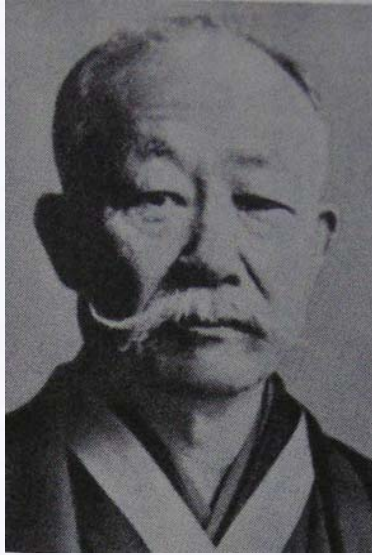


大原 富枝
(1912~2000)

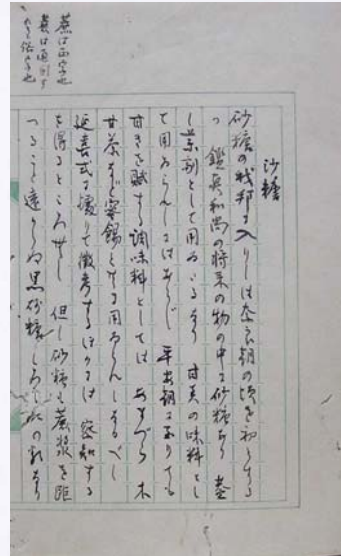


「建礼門院平徳子」 昭和49年 初出

生誕 140 年として特別出品



幸田 露伴
(1867～1947)



「沙 糖」 昭和 21 年 初出



尾崎 紅葉
(1867～1903)



「浮木丸」 明治 26 年 初出

会 期：平成 19 年 5 月 7 日（月）～平成 19 年 10 月 31 日（水）
午前 9 時～午後 5 時（休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日）
会 場：聖徳大学 8 号館 ギャラリー
会場への案内：J R・新京成線とも松戸駅下車、東口より徒歩 5 分

発行・お問い合わせ：聖徳大学川並記念図書館

T e l : 047-365-1111 (大代)

